

【2021年版】

デジタルコンテンツ購入時の  
決済手段に関する調査

- P4 調査概要
  - P5 回答者 性別と年代
  - P6 デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段
  - P7 【2018年との比較】よく利用する決済手段
  - P8 最も利用する決済手段
  - P11 最も利用する決済手段の理由
  - P13 【2018年との比較】最も利用する決済手段（性別）
  - P14 決済手段不足によるサイト離脱率
  - P15 購入頻度の変化
- 
-

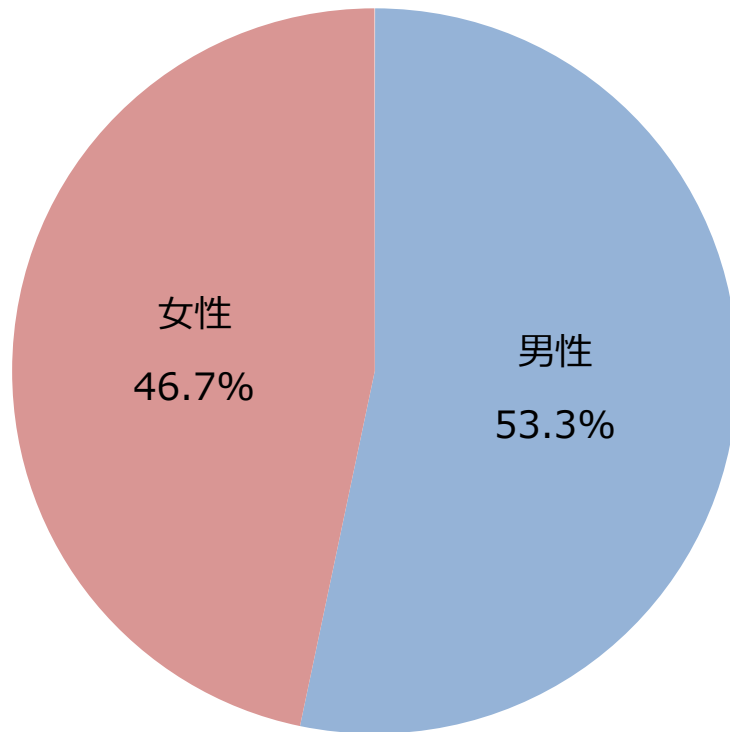
## 調査概要

# 調査概要

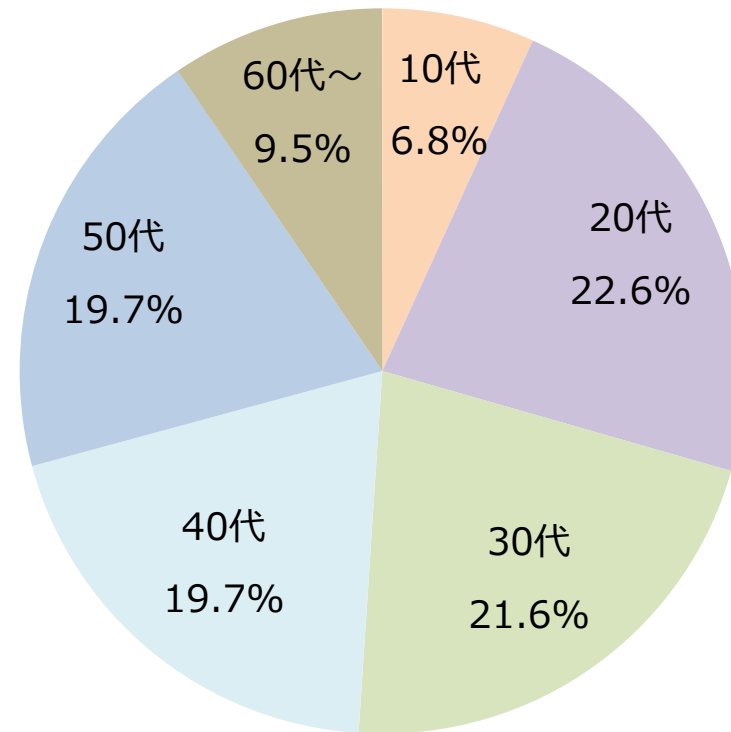
調査内容	デジタルコンテンツ購入時の決済手段に関する調査
調査対象者	1年以内にデジタルコンテンツの代金を支払ったことのある男女
回答者数	2,335人（男性：1,245人,女性1,090人）
調査方法	インターネットリサーチ
調査期間	2020年12月21日～2020年12月28日
調査元	SBペイメントサービス株式会社

# 回答者 性別と年代

性別

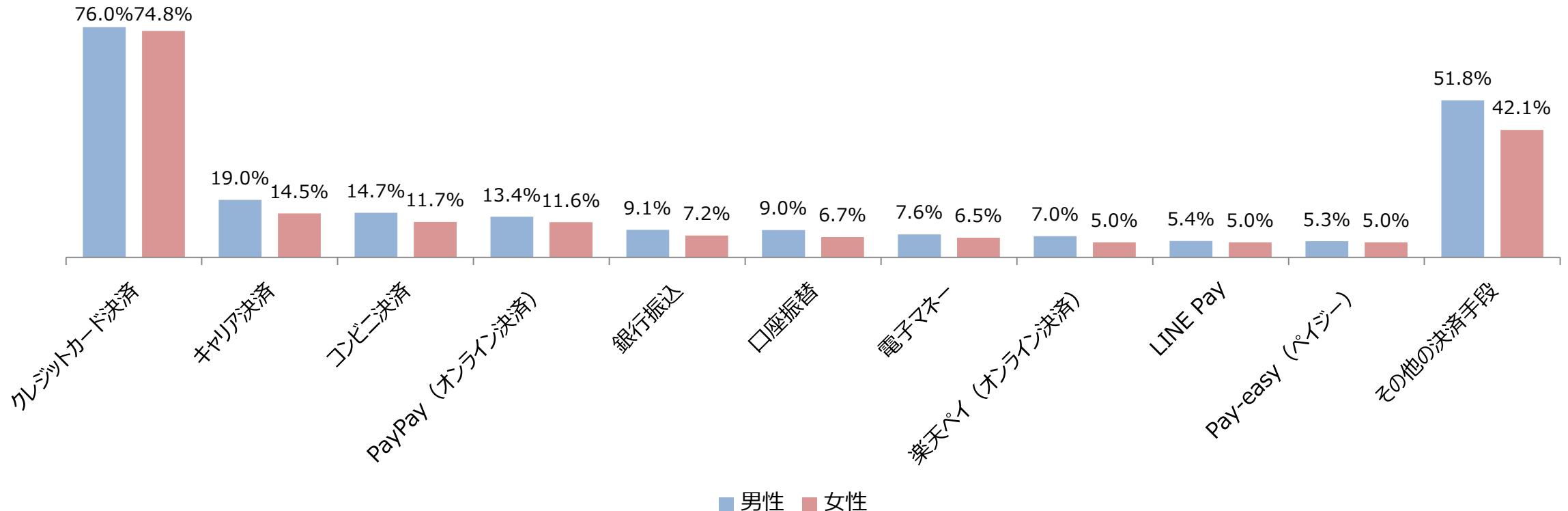


年齢



# デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段としてはクレジットカード決済が最も多く選ばれた。次に、キャリア決済・コンビニ決済と続き、実店舗でも普及が広がっているPayPay（オンライン決済）が選ばれた。



※その他の決済手段：プリペイドカード/ Apple Pay/ Yahoo!ウォレット決済/Google Pay/Amazon Pay/ペイパル/メルペイネット決済/Alipay決済/リクルートかんたん支払い/永久不滅ポイント/銀聯カード/ネットマイル決済/その他(自由回答)/特になし

(複数選択 n=2,335)

# 【2018年との比較】 よく利用する決済手段

2018年と比較すると、クレジットカード決済の割合が減少した分、PayPay（オンライン決済）や楽天ペイ（オンライン決済）・LINE PayのようなID決済の利用割合の増加が目立った。  
またキャリア決済がコンビニ決済を抜いて利用割合が増加している。

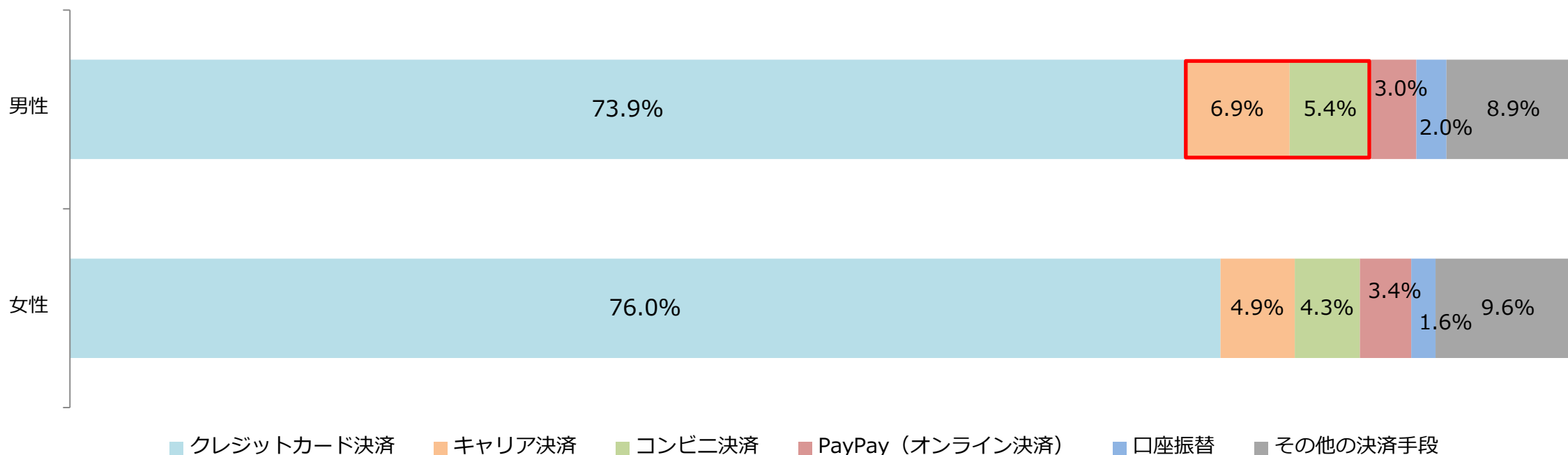
	2020年		2018年	
	順位	利用割合	順位	利用割合
クレジットカード決済	1	75.4% ↓	1	83.6%
キャリア決済	2	16.9% ↑	3	16.6%
コンビニ決済	3	13.3% ↓	2	19.5%
PayPay（オンライン決済）	4	12.5%	- ※	- ※
銀行振込	5	8.2% ↓	4	9.4%
口座振替	6	7.9% ↓	5	8.3%
電子マネー	7	7.1% ↓	6	8.2%
楽天ペイ（オンライン決済）	8	6.1% ↑	10	5.3%
LINE Pay	9	5.2% ↑	11位以下	4.0%
Pay-easy（ペイジー）	10	5.1% ↓	8	5.7%

※2018年調査時は選択肢としてなし

（複数選択 2018年:n=1,173, 2020年:n=2,335）

# 最も利用する決済手段（性別）

最も利用する決済手段1つを聞いたところ、男女共にクレジットカード決済が最も利用すると回答し、次にキャリア決済が多かった。特に男性は女性に比べクレジットカード決済の割合がやや低い分キャリア決済・コンビニ決済の割合が高かった。

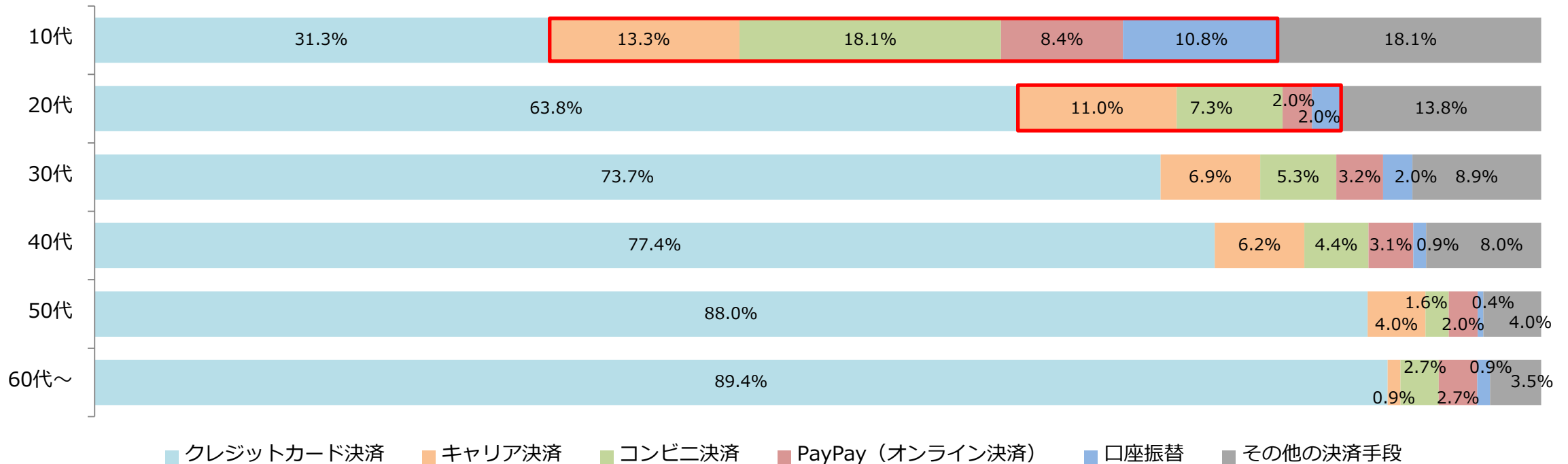


※その他の決済手段：銀行振込/プリペイドカード/電子マネー/楽天ペイ（オンライン決済）/Apple Pay/ Pay-easy（ペイジー）/Yahoo!ウォレット決済/  
Google Pay/Amazon Pay/ペイパル/メルペイネット決済/Alipay決済/リクルートかんたん支払い/永久不滅ポイント/銀聯カード/ネットマイル決済/その他(自由回答)/特にな  
(単一選択 n=2,145)



# 最も利用する決済手段（男性×年代別）

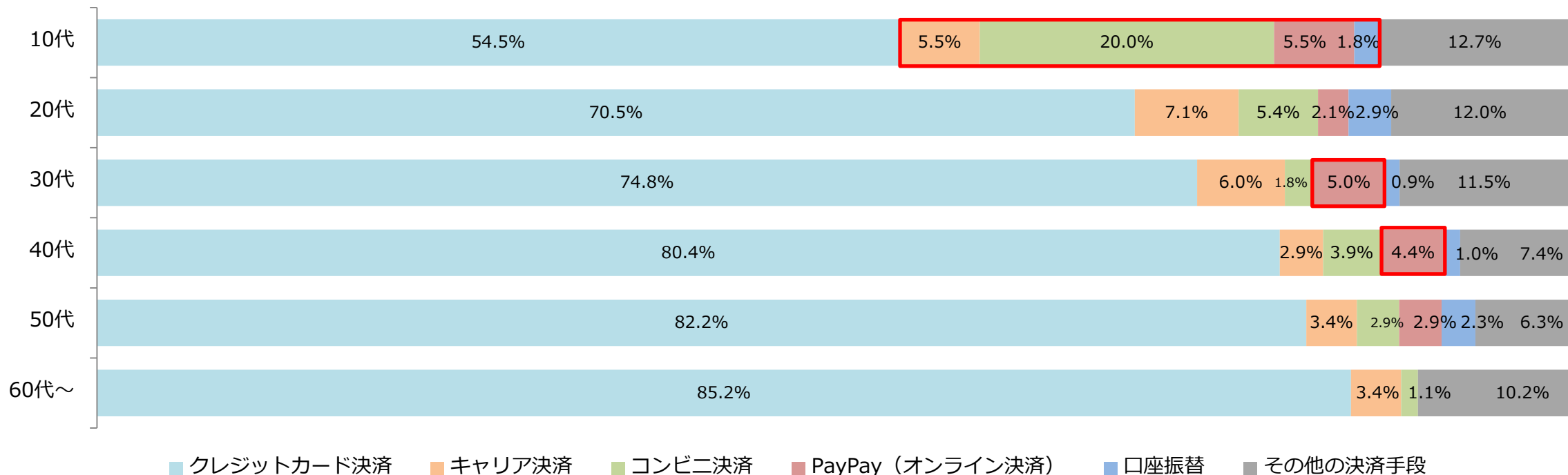
男性10代ではクレジットカード決済の利用割合が約31%と低く、その分キャリア決済をはじめ他決済手段の割合が他の年代に比べて非常に高かった。また20代の利用率においてもクレジットカード決済以外の4決済手段のみで20%以上あるため、他決済手段の重要性が高まっている。



※その他の決済手段：銀行振込/プリペイドカード/電子マネー/楽天ペイ（オンライン決済）/Apple Pay/ Pay-easy（ペイジー）/Yahoo!ウォレット決済/Google Pay/Amazon Pay/ペイパル/メルペイネット決済/Alipay決済/リクルートかんたん支払い/永久不滅ポイント/銀聯カード/ネットマイル決済/その他(自由回答)/特にない  
 （単一選択 n=1,165）



# 最も利用する決済手段（女性×年代別）

女性においては男性に比べるとクレジットカード決済の割合が高いが、10代は約半分の50%台となっている。その分コンビニ決済や他決済手段の割合が多い。また30代・40代のPayPay（オンライン決済）の利用割合が高いのは男性と異なり特徴的な結果だった。



※その他の決済手段：銀行振込/プリペイドカード/電子マネー/楽天ペイ（オンライン決済）/Apple Pay/ Pay-easy（ペイジー）/Yahoo!ウォレット決済/  
Google Pay/Amazon Pay/ペイパル/メルペイネット決済/Alipay決済/リクルートかんたん支払い/永久不滅ポイント/銀聯カード/ネットマイル決済/その他(自由回答)/特にない  
(単一選択 n=980)

# 最も利用する決済手段の理由

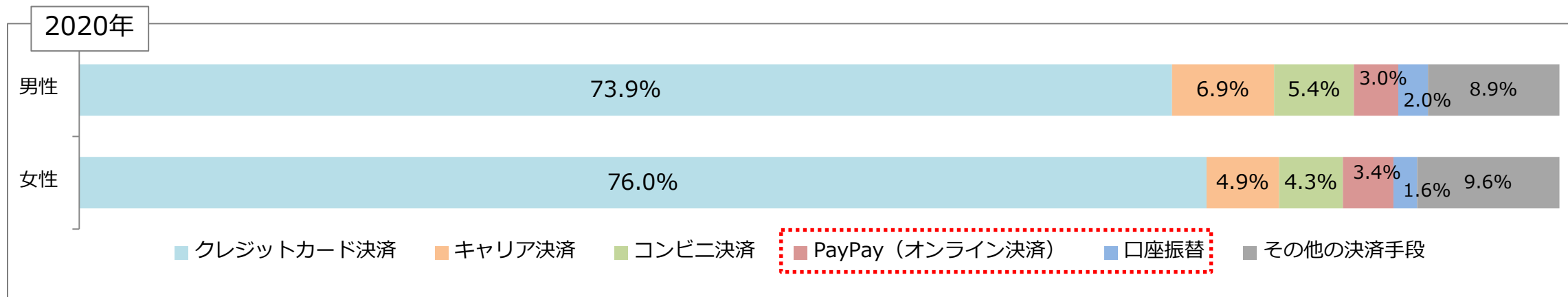
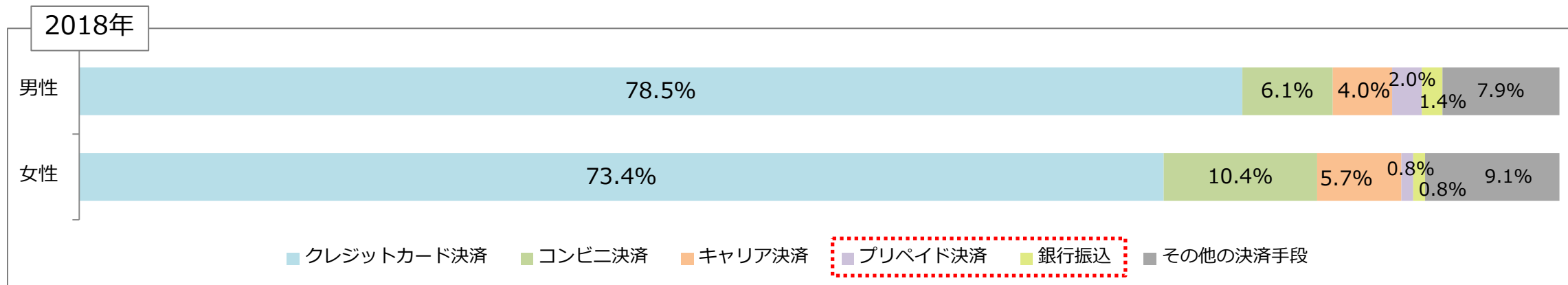
	クレジットカード決済	キャリア決済	コンビニ決済	PayPay (オンライン決済)	口座振替
男性	長年利用してきており、現時点で最も利便性の高い方法だから	キャリアのスマホを利用してるから	クレジットカードは安心できないし、近くにコンビニがあるから	対応店舗が多いこと、ポイントも獲得できるので	信用できる
	クレジットカードは事前にお金をチャージしなくても残高にせず使えるから	支払い管理ができて、確実に支払いが出来るから	クレジットと出費を別にしたいので	還元率が良いから使い勝手が良いから	使いやすいから
	不正利用に対する対策や補償がしっかりしている上、利用すればポイントがもらえるので	毎月支払われる代金とまとめられ、管理しやすいため	支払い場所が多いから	かんたんに決済できるから	他は面倒なので
女性	ポイントが付くため。コンビニの様に足をわざわざ運ぶ必要がないから	使いすぎ防止になるから	個人情報の漏洩が心配なので、それが最小限となる方法であると考えるから	簡単でメジャーだから	クレジットカードを使わずにすむ
	手間がかからず便利だから。クレジットカードのポイントが貯まるから	簡単だから。カード番号など確認せずすぐに決済できるから	キャッシュレスより現金派でコンビニはどこにでも沢山あって支払いに困らないから	クレジットカードは持っていないから	毎月の引き落としの方が便利なので
	クレジットカード以外の決済方法を受け付けてくれないコンテンツが多いから	キャリア決済が一番楽。クレジットカードは都度保存させずに入力しているので少し面倒	コンビニなら買い物のついでに支払いができるから	日常からよくつかっているため	便利だから

# 最も利用する決済手段の理由（その他の決済手段）

銀行振込	Google Pay	ペイパル	楽天ペイ（オンライン決済）	LINE Pay
カード番号流出が不安だから	安心感がある	主に海外ゲームの支払いで使っているが、そちらの支払い方法がクレカ（デビット）かペイパルなので、ワンクッション入るペイパルを利用している	ポイントが貯まりやすいので	チャージ式のクレジットカードとして使え、100円単位でチャージ可能だから
お金の動きがわかるから	使い勝手が良いから	クレジットカード番号を入力しないので安全性が高いから	安心感がある	手軽に使えて便利だから
メルペイネット決済	Pay-easy（ペイジー）	Yahoo!ウォレット決済	電子マネー決済	プリペイドカード決済
メルカリをよく利用するから	利用コンテンツの中で自分に選べるのはそれしかないことが多いから	Yahoo!プレミアム会員なので利用しやすい	使い過ぎの心配がないため	コンビニで手軽に購入できるので
不用品を売ってメルペイがたくさん溜まっているから	家から近いところで支払えるから	ポイントが溜まりやすいので	セキュリティ面で心配することがないから	店で買って登録するだけで済むから

# 【2018年との比較】最も利用する決済手段（性別）

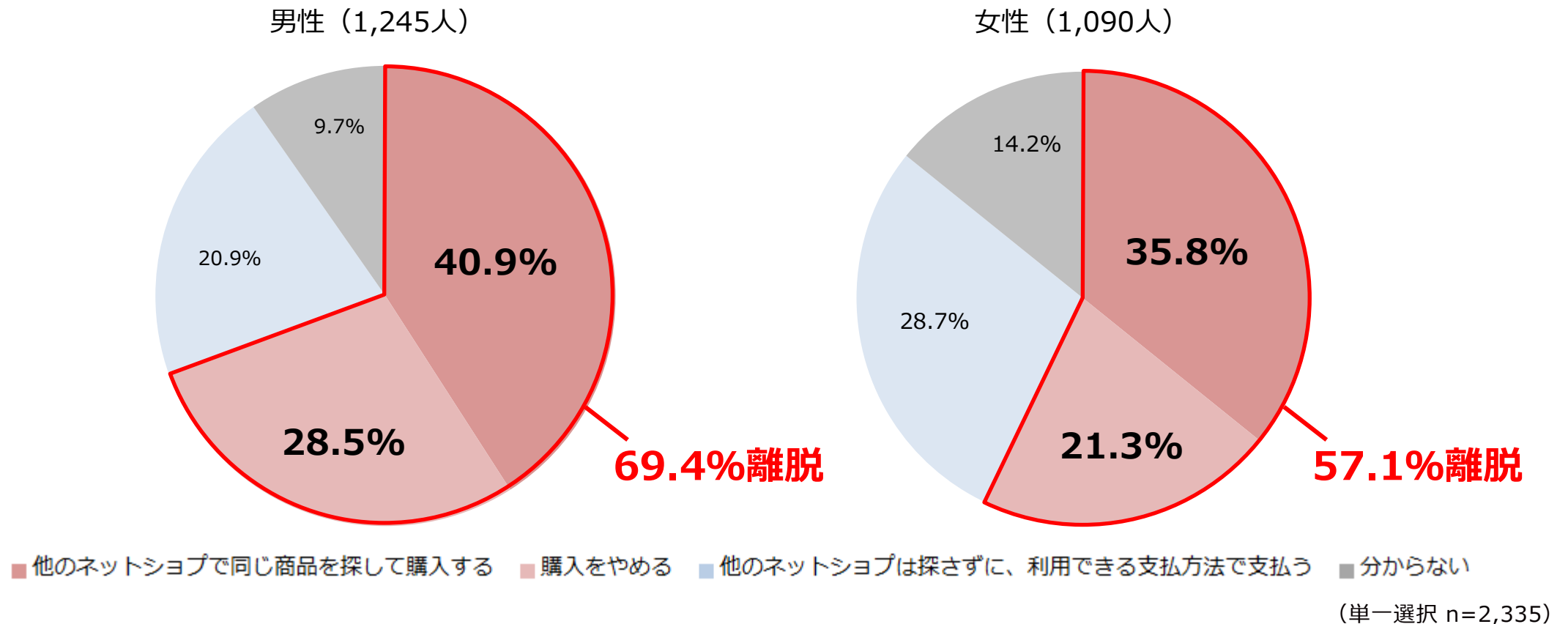
2018年と比較すると、男性ではクレジットカード決済が低くなっている分キャリア決済が増加、またプリペイド決済・銀行振込に代わりPayPay（オンライン決済）と口座振替が5位以内に入っている。女性ではクレジットカード決済が増加、また男性と同様PayPay（オンライン決済）もよく利用する決済手段の4位となっている。



（単一選択 2018年:n=1,173, 2020年:n=2,145）

# 決済手段不足によるサイト離脱率

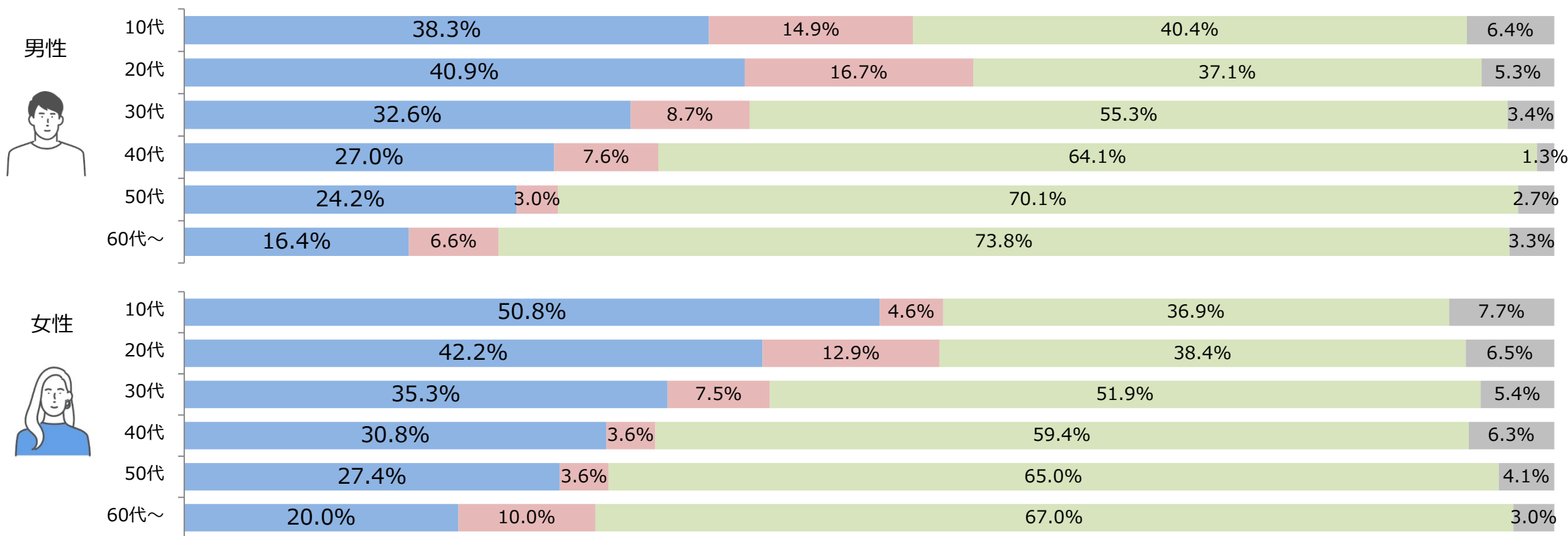
デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段がない場合どうするか、質問したところ男性では約70%、女性では約60%がそのネットショップでは購入せず離脱することが分かった。この結果からネットショップにおける決済手段の重要性が分かる。



# 購入頻度の変化

2019年と比較しデジタルコンテンツの購入頻度に変化はありましたか、と質問したところ男女共に増えたと回答した割合が、減ったと回答した割合を大きく上回った。2020年はコロナの影響もあり、オンラインショッピングをこれまでより多く活用されていることが想定される。

■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない ■ 分からない



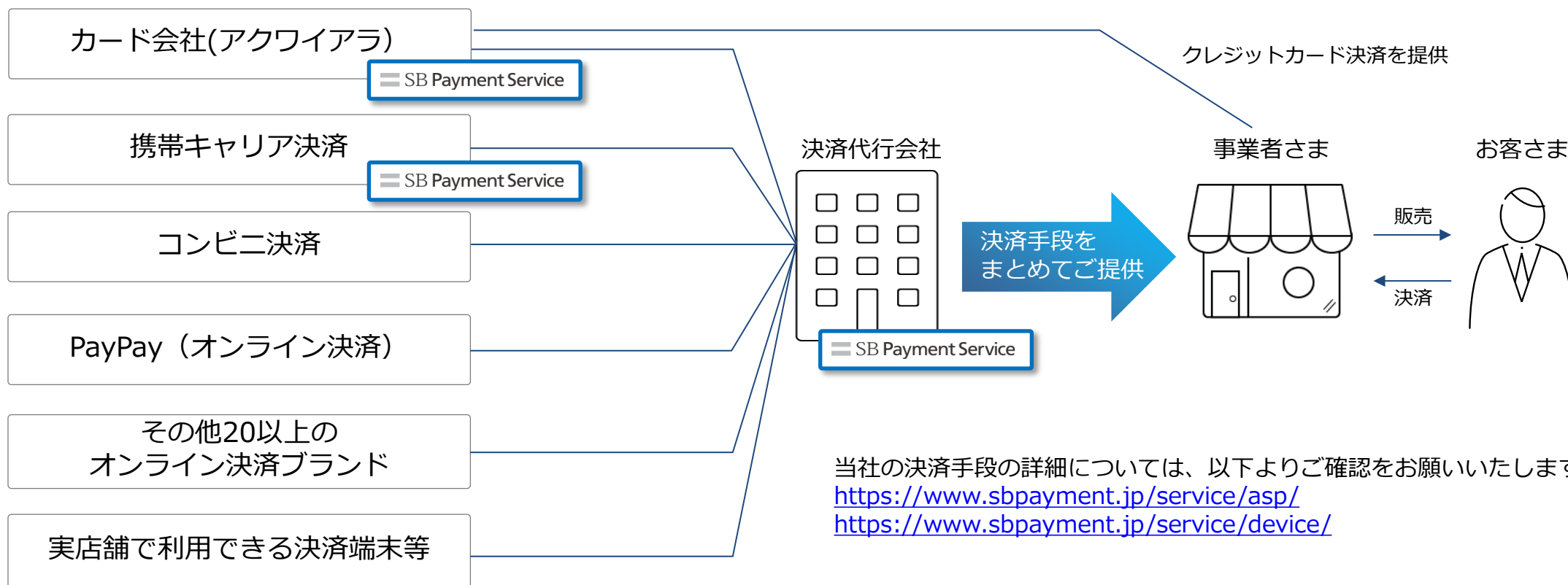
(単一選択 n=2,335)

# 決済業界と当社SBペイメントサービスについて

当社SBペイメントサービスは決済代行会社として、クレジットカード決済に始まり多種多様な決済手段を事業者さまへご提供しております。

また、当社はVisa・Mastercard・UnionPay（銀聯）の国際ブランドライセンスを取得しております。そのため、「アクワイアラ」というカード会社の立場として、事業者さまや、当社以外の決済代行会社さまに対してクレジットカード加盟店審査も行っております。

そして、ソフトバンクと共同でソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営をしており、他の決済代行会社へ携帯キャリア決済も提供しております。



当社の決済手段の詳細については、以下よりご確認をお願いいたします。  
<https://www.sbpayment.jp/service/asp/>  
<https://www.sbpayment.jp/service/device/>



# 会社概要

## 会社概要

## 役員一覧

社名	SBペイメントサービス株式会社
設立年月日	2004年10月1日
資本金	60億7,500万円
株主	ソフトバンク株式会社 100%出資
事業内容	決済サービス、プリペイドカード発行サービス ポイントサービス、集金代行サービス 送金サービス 上記に付随するコンサルティングサービス
従業員数	518人（委託社員含む）
拠点	本社：港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル25階 大阪：大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー7階 福岡：福岡市博多区中洲3-7-24 Gates11F WeWork
関連会社	SBギフト株式会社
各種免許 許認可一覧	前払式支払手段（第三者型）発行者 関東財務局長 第00625号 資金移動業者 関東財務局長 第00017号 電気通信事業者 関東総合通信局長 A-29-16195 クレジットカード番号等取扱契約締結事業者 関東（ク）第7号 電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）第15号

代表取締役社長 兼 CEO

榛葉 淳  
（ソフトバンク株式会社 代表取締役  
副社長執行役員 兼 COO）

代表取締役副社長 兼 COO 兼 CISO

堀田 智宣

常務取締役 兼 CSO

平田 敏昭

取締役 兼 CFO 兼 CCO

沖本 泰朋

取締役

佐々木 一浩  
（ソフトバンク株式会社 執行役員）

取締役

藤原 和彦  
（ソフトバンク株式会社 取締役  
専務執行役員 兼 CFO）

取締役

谷田 智昭  
（ヤフー株式会社 執行役員）

常勤監査役

村田 大介

監査役

桃崎 有治

監査役

秋山 修

SB Payment Service

情報革命で人々を幸せに ～ すべての人と価値をつなぐ ～

Webサイト からのご相談

---

<https://www.sbpayment.jp/contact/>

お電話 でのご相談（平日9：30－17：30）

---

03-6889-2131

Thank you